

「水環境学会誌」原著論文編 発刊頻度の変更について

日本水環境学会では、水環境分野における質の高い査読付き論文を掲載する機関誌として、1978年に「水質汚濁研究」を創刊しました。1992年には「水環境学会誌」と誌名を変更して46年が経過し、現在に至ります。この間、学術出版を取り巻く情勢も大きく変化し、電子ジャーナル化が進展したことを受けて、2010年には紙媒体の水環境学会誌への原著論文掲載からJ-STAGE上でのオンライン公開へと切替えることで、原著論文出版の迅速化を図ってきました。しかしながら、論文公開は年に6回（奇数月）に限定されており、受理されてからも論文掲載までには比較的長いタイムラグが存在する現状があります。

そこで、よりスピーディーな論文公開による本会機関誌の競争力向上を目的として、日本水環境学会では2025年1月から、「水環境学会誌」原著論文編の号を廃止することを決定しました。受理された論文は、出版準備が完了したものから順次オンライン公開されます。この変更にともない、これまで12月号として年1回お届けしていた原著論文編再録についても、2月号掲載に変更となります。

なお、冊子体の「水環境学会誌」特集企画編はこれまでと同様、月刊として皆様のお手元にお届けし、奇数月の号に原著論文編要旨を収録いたします。引き続き、ご高覧いただければ幸いです。

今後とも、会員の皆様による「水環境学会誌」原著論文編への最新の研究成果の積極的な投稿をお待ちしております。

原著論文編集部会長 金田一 智規
編集委員長 大河内 由美子